

物価高騰から 市民の暮らし、営業を守れ！

大軍拡をやめ、
消費税減税を

国の物価高騰対応交付金

デジタルポイントをやめ、全市民対象の給付を

国の補正予算で示された物価高騰対策。全国でも、府内でも、全住民を対象にした水道料金減免や現金・商品券給付などを行っています。

ところが、松井市長は「マイナンバーカードとスマートフォン」を使ったデジタルポイント（1人5000円）を給付する方針です。これでは、すべての市民に行き渡らないと怒りの声があがっています。



全文はこちら→

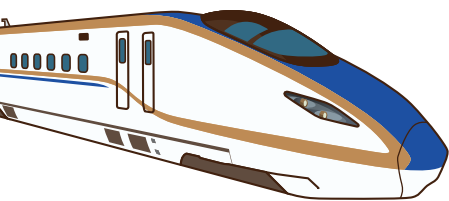
日本共産党議員団は、12月9日、暮らしを支える緊急対策を申し入れました。

いま、京都の世界遺産が危ない！

世界遺産 保護条例

提 案

現在進行している大規模な都市計画の見直しが、世界遺産に及ぼす影響は極めて大きく、日本共産党京都市議員団は、11月市会に「世界遺産保護条例（案）」を提出しました。他会派の反対で、条例制定には至りませんでしたが、京都市が「古都京都の文化財を守るために」と題した新しいリーフレットを発行、議会での積極議論で世界遺産保護にインパクトを与えました。



北陸新幹線延伸計画は きっぱり中止を！

26年度も
着工断念

北陸新幹線地下延伸計画のルート案について、京都市は、5つの懸念を表明していますが、払拭されるどころかますます深まるばかりです。仏教会や多くの住民団体からも反対の声があがっています。

5つの懸念

- ▶ 地下水への影響
- ▶ 建設発生土への対応
- ▶ 工事車両による交通渋滞
- ▶ 京都市財政への影響
- ▶ 文化歴史的建造物等への影響

そもそも着工条件なし

着工条件は、「費用対効果1以上」

小浜・京都
ルート

桂川ルート	0.522
南北ルート	0.551

(石川県選出の自民党国会議員による自主研究会)

世論と運動の高まりの中で、2026年度着工は4年連続断念に追い込みました。

与党プロジェクトチームに維新が加わりましたが、あらためて8ルートで検討し直す方針など、混迷を深めています。

北陸新幹線延伸は中止し、サンダーバードなど公共交通の充実こそ求められています。

